

# J A 静岡市 自己改革の取り組み



令和元年 6 月 26 日 (水)

第 28 回通常総代会資料

## はじめに

J A静岡市は、座談会や生産部会、担い手農家や青壮年部・女性部などから出された意見や要望をもとに「J A静岡市3か年計画」を策定し、「自己改革」を踏まえた「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に取り組んでいます。

J Aは、農業者を中心とした組合員が「力を合わせて」共通の願いをかなえるために組織した「協同組合」です。営農・経済事業の強化はもとより、地域に根ざした協同組合として組合員や地域住民の皆さんに信用事業・共済事業・不動産事業・生活関連事業など、また総合事業を活かしたサービスを提供するとともに、1支店1協同活動などに積極的に取り組み、地域貢献に努めています。

「J Aは必要だ」との評価をいただけるよう、組合員や地域住民の皆さんの「思い・願い」を受け止め、自己改革を進めています。

## 自己改革の取り組み

<目 標> 農業者の所得増大      農業生産の拡大      地域の活性化

### 営農支援体制の充実

#### ●農業チャレンジ支援事業の実施

平成27年度から令和元年度までの5年間に1億5,000万円の予算を確保し、新規作物や加工品開発に関する事業を支援していきます。4年間に継続事業を含めた16件が採択され、生産組織や地域全体で取り組み、新品種の導入や産地化、地域振興などに活用されています。



#### 【4年間の実績】

	助成金額 (円)	内 容
平成27年度	4,800,500	「長田唐芋」共同種芋生産による面積拡大、キウイ新品種「東京ゴールド」早期普及、薫科ブロック誘客・PR事業、レタス栽培による所得向上、葉ねぎ契約販売品質向上 <5件>
平成28年度	6,813,539	在来作物の収量向上と加工商品の開発、地域特産蓮根の省力栽培の開発と普及、桃せん孔細菌病対策と農地の集積・改植による産地維持、内牧かぶせ茶・碾茶の生産と普及 <4件>
平成29年度	5,261,532	かぶせ茶栽培の普及による地域活性化、地域の情報発信基地としての店舗作り、大河内地区茶振興活性化プロジェクト、オリーブの産地化 <5件>
平成30年度	13,568,900	マム(菊)販売品質向上 柑橘品質向上マルチ栽培の普及 <2件>
4年間の合計	30,444,471	

\*継続事業を含む  
\*詳細はP11から掲載

## ● 営農支援体制の強化

平成30年4月から各営農経済センターに配置したTAC担当職員を中心に、出向く体制を強化しました。営農指導や農業資金の活用、経営改善指導など幅広いサポートをしています。

また、営農経済センターでは「ITを活用した生産性の向上」などのテーマを決めて課題に取り組み、生育環境や作業状況のデータ化・情報の共有をすることで生産性の向上、高品質化、高付加価値化に貢献していきます。



環境モニタリング「みどりクラウド」の導入試験

## ● 担い手支援体制の強化

### ・ 農業後継者塾「<sup>みらい</sup>魅来」の開講

平成29年度、農業後継者と専任の営農指導員がともに技術や農業経営を学ぶ農業後継者塾を開講し、12人の塾生が卒業しました。我が家の農業経営を振り返り、理解し、「明確な将来ビジョン」を持って実践する機会としています。



後継者と営農指導員がペアで取り組む「魅来」

### ・ 新規就農者養成講座「新生」の開講

生産部会と連携し、産地維持を含めた受け入れ体制を整備し、新規就農希望者に対し就農に関する相談・支援を行っています。平成30年度は4人が参加し、就農・委員会加入につなげました。

### ・ 無料職業紹介所の開設

平成30年3月、農作業の人手不足解消を目的に開設した「JA静岡市無料職業紹介所」は、県下の農業求人サイト「しずおかの農業で働こう」と連携しています。平成31年3月末までの実績は、求人20件、応募者40人、16件が成立しました。



無料職業紹介所で雇用契約が成立

【平成 30 年度 農業振興支援対策の実績】

事業名		実績	
農業 振興 支援	茶園改植支援対策	59 件 557.81a	557,810 円
	茶園転換支援対策	20 件 98.44a	98,440 円
	ハウス新設支援対策	10 件 21.22a	1,712,133 円
	野生鳥獣害被害防止支援対策	電柵等 36 件、地域一体型集団防護柵 5 件	821,000 円
	耕作放棄地対策	4,332 m <sup>2</sup> 解消	
	部農会組織支援事業	7 部農会	142,700 円
	就農者等支援対策	5 件	1,364,700 円
認定新規就農者 1 名、親元就農者 1 名育成			
		合 計	4,696,783 円
融 資	農業関係融資	70 件	454,500,000 円
	青年等就農資金	1 件	12,930,000 円
		合 計	467,430,000 円

【5年間の実績】

<千円>

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	合計
茶改植支援	285	368	377	381	558	1,969
茶転換支援	-	443	492	283	98	1,316
ハウス支援	300	200	1,697	2,039	1,712	5,948
鳥獣害被害	1,935	2,435	2,220	1,505	821	8,916
部農会支援	148	204	138	118	143	751
就農者支援	-	-	-	280	1,365	1,645
合計	2,668	3,650	4,924	4,606	4,697	20,545

## 農業経営力の向上

### ●静岡本山茶ブランド化と産地維持

本山茶の全国的な認知度向上とブランドの確立を通して、販路や消費拡大につなげることを目的に平成 30 年度、地理的表示（G I）保護制度登録を目指し、準備委員会を経て協議会を設立。申請の準備を進めています。

### ●茶の輸出へ向けての取り組み

EU への輸出を視野に、実証茶園で防除基準・残留農薬分析などを行い「EU 輸出向け茶生産基準」の開示に向けて取り組んでいます。ヨーロッパでは農産物の「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる GAP 認証が重要視されるため、GAP 取組意向茶工場の把握と GAP 制度の認識向上、研修会の開催など周知活動と指導體制の強化を進めています。

## 販売力の強化

### ●販売体制の強化

#### ・営業力の強化

販売センターを中心に営業力の強化に努め、農産物の有利販売につなげるため市場、卸店、小売店などとのマッチングを進めました。

#### 成果

◇イチゴ：H30＝5億885万円（前年比100.4%）

◇柑 橘：H30＝1億4,137万円（前年比100.3%）

◇新規取引先＝日本平ホテル、あおぞらキンダーガーデンなど4件増加 合計22件

◇新規取引FM＝JAたがわ、JAたじまなど4件増加 合計44件

#### ・新商品の開発

茶加工事業では本山茶の優良品質を前面に出し、新規取引先の開拓と若年層に向け、スルガエレガントのフレーバーティーや粉末茶などの新商品の開発に注力しました。



#### ・ブランドショップ「じまん館」のオープン

平成30年12月、管内の特産品や加工品を集めた店舗として千代田支店敷地内にプレオープンし、今年4月にグランドオープンしました。JA静岡市ブランドのPRとネット通販などの充実を目指します。併設の広場には農畜産物の紹介パネル、ティーサーバーやネット通販できるタッチパネルを設置し、JAブランドのおいしさと魅力を発信していきます。



### ●じまん市の販売強化

じまん市事業では、出荷者の所得向上を最大目的として掲げ、販売・営農部門が連携し、講習会や圃場巡回による生産技術の向上と生産量の拡大、有利販売につなげています。平成28年度から始まった地場出荷米の買取販売は順調に進み、本年度は前年比133%、約1,130袋をじまん市で販売しました。

#### 成果

◇新規出荷者＝30人 ◇山間地を中心とした栽培講習会＝年6回開催

◇地場出荷米取扱量（玄米）：H28年産＝25t、H29年産＝25.3t、H30年産＝34t

◇食育ソムリエによる食の提案＝各じまん市で週1回試食会を開催

## 生産資材のコスト削減

物流センター制の導入と、1ブロック1営農経済センターに購買店舗を集約し一括仕入れをすることにより、価格の引き下げ、取扱い品目の増加に努めました。



### 成果

- ◇肥料特別価格商品 14品目の価格を引き下げ
- ◇JAしみずとの共同仕入れなどによる農薬価格30品目の引き下げ

## 地域の活性化

### ●教育文化活動の取り組み

#### ・「組合員大学」

平成30年4月、JA運動のけん引役となるリーダーの育成を目指し開講。30人が受講し「協同組合とは」「10年後の地域農業を考える」などの講座や視察、情報交換を行いました。



#### ・女性大学

JAを学びと仲間づくりの場とする2年制の女性大学「シズ・カレ」は、JAファンづくりや卒業生の女性部加入にもつながっています。今までに98人が参加し、9月には6期生を迎えます。



### ●食と農を基軸とした活動

#### ・食農教室

公立こども園の教諭を対象とした野菜作り講習会の開催、営農指導員や生産部会、青壮年部員や女性部員などが小学校などへ出向き、地元の農産物の栽培・加工品作りなどを通して農業の楽しさ、大切さを伝える活動に取り組んでいます。



#### ・1支店1協同活動

JAが「地域の拠り所」となることを目指し、全支店が取り組み、食農体験活動や地域の祭り・イベントへの参加、店周辺や農道の清掃活動など28のテーマで42の事業を行いました。



## 総合事業を暮らしに役立てる

### ●PRチラシの活用

JAの総合事業を広く地域住民に知ってもらおうと、PRチラシを作成し、キャンペーンや農業祭などで配布、支店やATMコーナーに設置しています。

また、全じまん市に設置したインフォメーションボードに「支店だより」や「1支店1協同活動」の様子などと共に掲示しています。

### ●准組合員向け広報誌の創刊

農業やJA事業・活動への理解を深めてもらうため、また、JAの自己改革の取り組みの周知に向け「准組合員さんこんにちは」を創刊し、全准組合員へ届けました。



### ●准組合員の農業体験

住宅ローンなどの利用者とその家族を対象にジャガイモ、ジャンボラッカセイ、サツマイモの収穫体験などを行い、111人が参加しました。



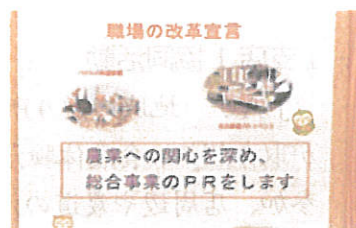
### ●じまん市の利用者を総合事業の利用者へ

じまん市の利用者にJAの総合事業をPRし、利用へつなげようと「からだセミナー」や「終活セミナー」などを開催しています。南部じまん市では初めて園児の絵手紙展示を行いました。



## 役職員の意識改革「職場の改革宣言」「私の改革宣言」

全役職員が、事業目標達成のために課題を認識・共有し、組合員や地域住民の皆さんから「JA静岡市は必要だ」と評価していただけるよう、一人ひとりが具体的にどう行動するかを「改革宣言」として掲げ、実践しています。





## 意識・情報共有は対話から

3か年計画や自己改革の取り組みの成果については、今後も座談会や各組織との意見交換会、アンケート調査などさまざまな機会を通じてお伝えし、皆さまの“声”を聞き、JA運営に活かしてまいります。

### ●運営委員会の見直し

組合員の皆さんの意見を活かしたJA運営を行うため、運営委員会の構成員や開催方法を見直しました。また、広報誌に「理事会だより」を掲載し、理事会での決定事項を報告するなど情報提供を積極的に行っていきます。



### ●ふれあい座談会の開催

✦テーマ「自己改革の取り組みと今後の地域農業・地域社会のあり方」  
H30年10月～11月／46会場／延べ866名参加

いただいた意見は事業に反映させるとともに、「質疑応答集」にまとめて正組合員の皆さまにお配りしました。

### ●常勤役員・青壮年部・女性部との意見交換会の開催

H30年8月21日／部員17名、役職員10名参加

「市街化区域では農地の確保が難しいため、基盤整備を進めてほしい」などの意見  
⇒事業化できる地域を絞り込み調査を進めています。整備後の利活用にご協力ください。

### ●認定農業者との情報交換会

H30年6月19～22日／延べ38名参加

「補助事業等の提案や申請サポートを積極的に行ってほしい」などの意見  
⇒経営規模拡大に向けた農地斡旋や融資を行い、2月には認定農業者研修会を開催しました。

### ●南部じまん市出荷委員会役員と消費者との対話会

H30年6月29日／会員6名、消費者12名参加

「出荷物の安全性が気になる」などの意見  
⇒農薬の使用履歴を事前に提出して違反がないものだけ出荷しています。また、毎月残留農薬検査を行っています。

## 自己改革の取り組みに対する組合員アンケートの結果（中間報告）から

昨年10月から実施した全組合員調査（自己改革の取り組みに対する組合員アンケート）につきまして、ご協力いただきありがとうございました。中間結果が出てまいりましたのでご報告いたします。

目的：JAの自己改革の取り組みに対する評価の聴取

内容：事業の利用度・満足度、意思反映、JAに期待することなど11～25問で調査

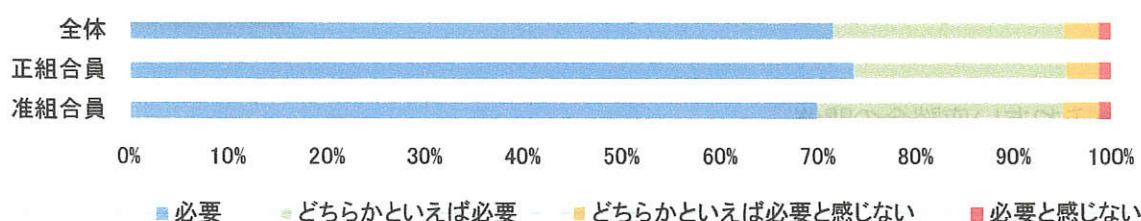
回収数：正組合員 6,957人（回収率 85.0%）、准組合員 9,933人（64.8%）、全体（71.8%）

<調査結果は平成31年2月末締め>

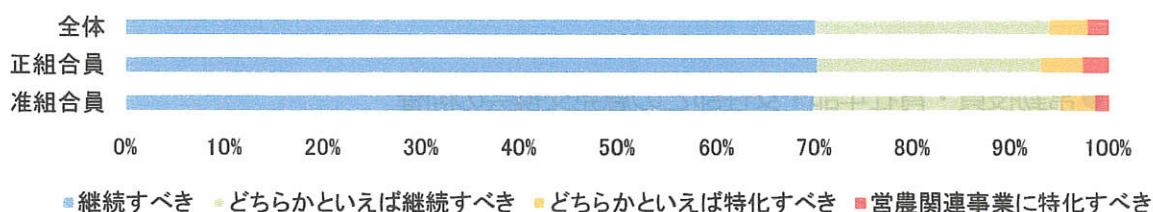
<結果>

### ○JAの総合事業について [正・准組合員共通]

#### ・JAの必要性

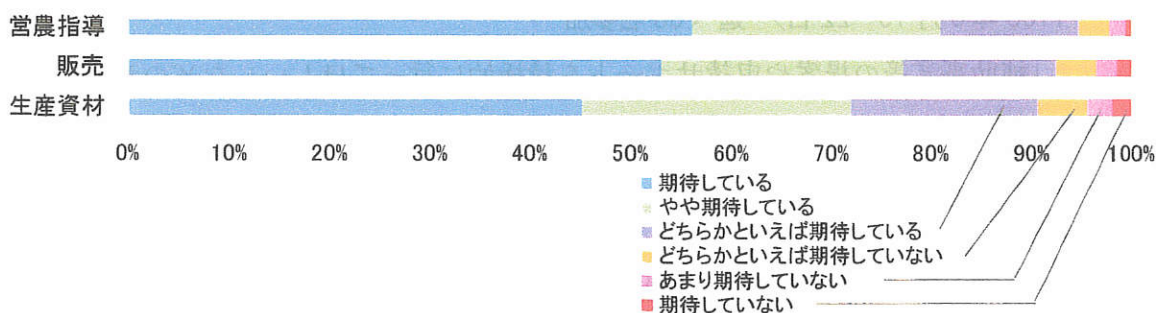


#### ・総合事業の継続

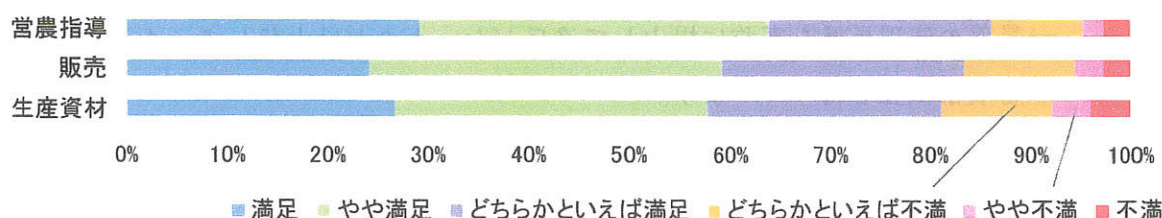


### ○農業関連事業について [正組合員]

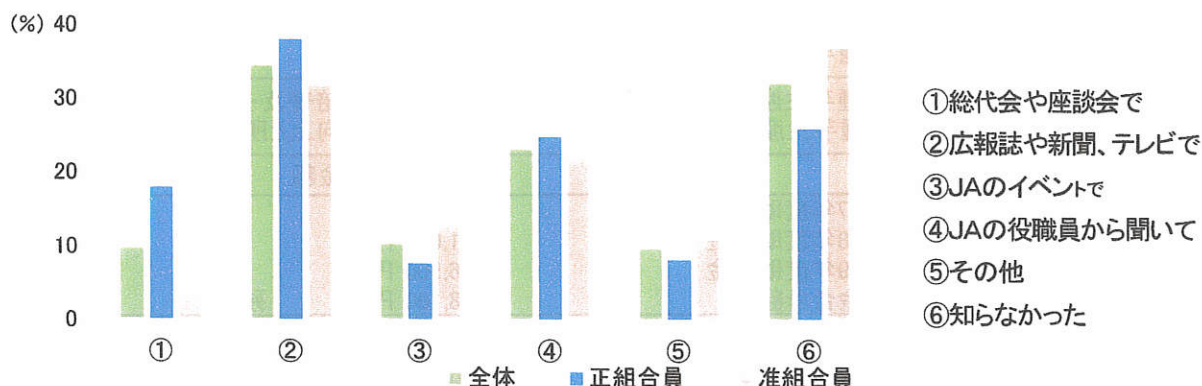
#### ・営農指導事業、販売事業、購買事業の期待度



#### ・営農指導事業、販売事業、購買事業の満足度



○自己改革の認知度について [正・准組合員共通]



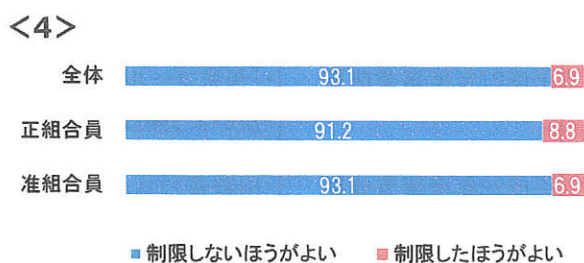
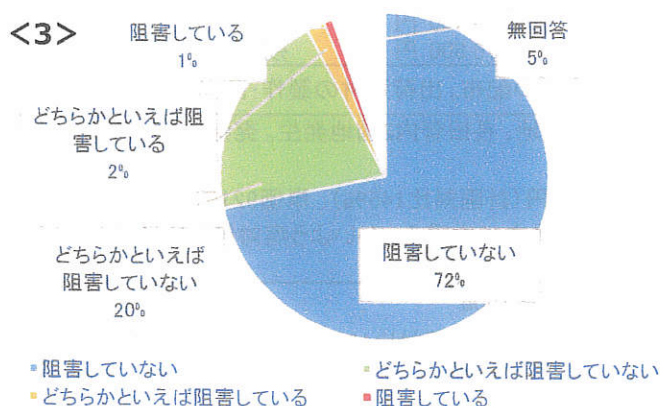
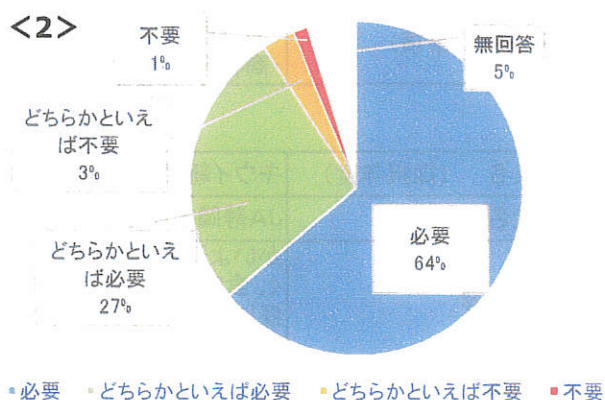
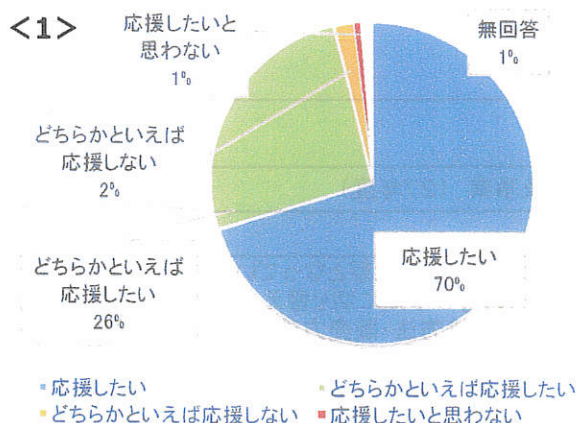
○准組合員制度について

<1> JAの事業利用や地域の農畜産物を食べることなどでJAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか [准組合員]

<2> 准組合員のJAの事業利用は正組合員（農業者）にとっても必要だと思いますか [正組合員]

<3> 准組合員のJAの事業利用は正組合員（農業者）が利用する農業関連事業の改善を阻害していると思いますか [正組合員]

<4> 准組合員のJA事業の利用が制限されることについて [正・准組合員]



最終集計結果は秋ごろの予定です。引き続き自己改革に取り組み、組合員や地域住民の期待に応えてまいります。

【農業チャレンジ支援事業の取り組みと成果】

事業名 (採択年度)	共同種芋生産による栽培面積拡大事業 (27年度)		
組織名	長田唐芋部会		
事業内容	共同種芋生産による栽培面積拡大事業。唐芋の栽培普及・栽培面積拡大を図るため、共同で種芋生産に取り組み、モデル園にて栽培技術の向上と所得向上を図る。		
事業費	1,780,000 円	助成金額	1,602,000 円
過去の給付経過	平成27年度助成金 270,000 円 平成28年度助成金 381,600 円 平成29年度助成金 756,500 円 助成金合計額 1,408,100 円	残金	193,900 円
平成27年度事業成果	・チャレンジ事業の採択を得て、畝上げ機の導入・畑貸借10a・種イモ70kg発注		
平成28年度事業成果	・出荷量8,074kg、販売高実績2,281千円(計画対比142.5%) ・部会で生産した種芋126kgを配布、販売し栽培コストの低減と栽培面積拡大を実施 ・各営農センターで栽培講習会を6回開催。会員21名、栽培面積40a		
平成29年度事業成果	・出荷量7,060kg、販売高実績2,702千円(計画対比96.5%) ・洗浄機2台の導入により、水洗いせずに調整作業ができるようになり、大幅な作業時間の省力化が図られた。また、棚もちも以前より向上し販売先の好評を得た。 会員29名、栽培面積60a ・イオン清水店、浜松店、澤光青果、静鉄ストア等、販売ルートの拡大に努めた		
平成30年度事業成果	・出荷量6,182 kg、販売高実績3,782千円(計画対比65%) ・「とうまるくん」の商標を特許庁へ申請。会員24名、栽培面積33a ・H31年度商標登録となるため、助成金については、H31年度活用していく		
今後の取り組み (重点指導事項)	・農地を確保し、出荷量の増大と販売高向上を図る ・商標申請後の事務手続きの対応を行う ・商標を活かしたパッケージの作成を行う		

事業名 (採択年度)	キウイ新品種「東京ゴールド」早期普及事業 (27年度)		
組織名	JA静岡市キウイ委員会		
事業内容	かいよう病による「レインボーレッド」の栽培が壊滅状態となっているため、かいよう病に強く、食味のよい黄色系新品種「東京ゴールド」へ早期に切り替え、キウイフルーツの安定生産により農家所得の向上を図るとともに、栽培方法・販売方法を構築し、産地維持の確立を図る。		
事業費	3,334,000 円	助成金額	3,000,000 円
過去の給付実績	平成27年度助成金 489,000 円 平成28年度助成金 1,490,400 円 平成29年度助成金 681,800 円 平成30年度助成金 215,400 円 助成金合計額 2,876,600 円	残金	123,400 円
平成27年度事業成果	・「東京ゴールド」苗木を33名に2本ずつ配布。出荷資材の製作・配布		
平成28年度事業成果	・かいよう病調査実施、東部管内2園地、長田管内2園地発生。発症部位の切除および「東京ゴールド」への改植を行った ・出荷量273kg、販売高実績251,433円(計画対比145%)、単価921円 ・2月に「東京ゴールド」苗木138本、雄木16本購入。かいよう病対策と新品種の早期普及を図った。生産者16名、改植面積50a		
平成29年度事業成果	・改植6a、新植25aを実施。総栽培面積150a ・出荷量7,000kg、販売高実績5,467,000円(計画対比1093%)		
平成30年度事業成果	・栽培面積200a(計画対比111.1%)、出荷量12,637kg(計画対比421.2%)、販売高実績9,458,650円(計画対比630.6%) ・当初導入した苗木が成木となり、出荷量が増加した ・夏場の乾燥等、また貯蔵中の環境温度等の原因による果実のしなびが発生しているので、果実内の水分不足に十分注意していく		

事業名 (採択年度)	薬科ブロック誘客、PR事業 (27年度)		
組織名	薬科ブロック振興会		
事業内容	薬科ブロックへの誘客と農産物のPRを目的とする。(店舗組織の連携、イベント開催、商品開発、のぼりの設置等)		
事業費	1,000,000 円	助成金額	900,000 円
過去の給付実績	平成27年度助成額	540,000 円	
	平成28年度助成額	180,000 円	
	平成29年度助成金	180,000 円	
	助成金合計	900,000 円	残金 0 円
平成27年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興会10店舗+JA各支店にてのぼりを設置し薬科地区をPR。振興会10店舗+JA各支店でスタンプラリーを実施し、誘客および農産物加工品のPR販売を実施</li> <li>・販売高実績32,149千円(計画対比103%)</li> </ul>		
平成28年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績38,771千円(計画対比122%)</li> <li>・振興会10店舗+JA各支店にてのぼりを設置し薬科地区をPR。振興会9店舗+JA各支店でスタンプラリーを実施し、誘客および農産物加工品のPR販売を実施</li> <li>・振興会にて、水見色きらく春祭り、新東名ネオパーサ清水、湯ノ島温泉秋まつり、南部じまん市店頭販売、洞慶院梅祭りに参加、実施</li> </ul>		
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績34,581千円(計画対比104.3%)</li> <li>・のぼりの設置、スタンプラリーの実施</li> <li>・9月に振興会として、「静岡発そこが知りたい」出演、店舗及びスタンプラリーのPRを行った</li> <li>・イベントについて、各店舗にて出役し行っているが、全店舗が揃わない状況。今後、振興会が主催のイベントを検討する</li> <li>・新規加入組織の発掘も検討中</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績34,003千円(計画対比98.5% 2月末時点)</li> <li>・スタンプラリー7を活性化するためにボーナスチャンスの景品10店舗の商品券10,000円分を10名に拡大(抽選日4月2日)</li> <li>・振興会主催のイベント開催を検討し、各店舗の活性化を図る</li> <li>・新規加入組織等の推進を行う</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	レタス栽培による所得向上 (27年度)		
組織名	レタス部会		
事業内容	水田後作のレタス栽培を普及するため、定植機・包装機を導入し、レタス栽培規模拡大を図るとともに、栽培計画による有利販売を実施し、所得向上を図る。		
事業費	3,337,692 円	助成金額	3,000,000 円
過去の給付実績	平成27年度助成額	3,000,000 円	
	助成金合計	3,000,000 円	残金 0 円
平成27年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタス包装機、移植機の導入、部会設立、栽培計画策定、部会員10名</li> </ul>		
平成28年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績3,200千円(計画対比106.6%)、会員10名、栽培面積70a</li> <li>・畝たてを見直し、定植機での定植を行い、作業効率が格段に向上した</li> <li>・6/27より出荷開始、本作については、価格面を考えたトンネル栽培を基本とした</li> </ul>		
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏レタスの作付について1回の植付け本数の見直し、間隔検討を行った。会員10名、栽培面積35a</li> <li>・6月下旬、作付開始4年目にして、サルの有害被害にあい、その後の作付を断念した</li> <li>・冬レタス育成指導巡回、講習会の実施。作付検討・定植指導を実施</li> <li>・鳥獣対策、育成指導の徹底を図っていく</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績1,319千円(計画対比66%)、会員8名、栽培面積23a(計画対比46%)</li> </ul>		
今後の取り組み(重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高確保のため、薬科ブロック管内で、レタスのリレー栽培を検討</li> <li>・JA静岡市全体でレタス講習会を行い、新規部員を募集する</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	葉ねぎ契約販売品質向上事業 (27年度)		
組織名	久能葉ねぎ部会		
事業内容	久能葉ネギ栽培の均一化を図るため、環境測定器を導入し、安定生産を図るとともに、契約販売に取り組み所得向上を図る。		
事業費	1,074,392 円	助成金額	459,500 円
過去の給付実績	平成27年度助成額	459,500 円	
	助成金合計	459,500 円	残金 0 円
平成27年度事業成果	・環境モニタリング機器の導入と設置。データ収集		
平成28年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培面積38a。1生産者当たりの販売実績 収量: 47,563束、販売高実績2,853千円 (計画対比: 1束数146%、売上高155%)</li> <li>・夏作の2圃場の環境データを収集し、収量調査を行った。データ分析により夏作管理マニュアルを作成、配布し、高品質栽培指導を行った</li> <li>・引き続き、時期や圃場を変え、データの収集を行い、栽培マニュアルの精度をあげ、高品質栽培技術を部会員へ普及していく</li> </ul>		
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培面積35a。1生産者当たりの販売実績 収量: 42,313束、販売高実績2,792千円 (計画対比: 1束数120%、販売高139%)</li> <li>・平成29年9月8日、水管理支援システム(イーラボエキスペリエンス)と設置について打合の実施</li> <li>・中平松地区にて、設置環境の調査、環境確認</li> <li>・平成29年9月19日モニタリング機器設置(中平松地区)</li> <li>・今後、モニタリングと分析を行い、生育期後半の灌水量の調節等を部会員へ普及し、品質向上に努める</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培面積37a。1生産者当たりの販売実績 収量: 44,631束、販売高実績2,633千円 (計画対比: 1束数117%、売上高121%)</li> <li>・今後、灌水データ等の共有を図り、高品質栽培管理の徹底を図る</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	加工商品の開発に関する事業 (28年度)		
組織名	焼畑クラブ		
事業内容	在来雑穀作物の収量向上と雑穀製粉・加工による安全・安心な食べ物の提供を図る。		
事業費	3,315,332 円	助成金額	2,946,800 円
過去の給付実績	平成28年度助成額	2,946,800 円	
	助成金額合計	2,946,800 円	残金 0 円
平成28年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工施設建築着工</li> <li>・脱穀機、粳搗り機、精米機、製粉機導入試験運転</li> <li>・耕運機、播種機導入</li> <li>・各地、各種イベントへの参加とPR宣伝</li> </ul>		
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月～9月にかけて農業新聞やテレビ取材等があり、在来作物の紹介や販売についてのPRを実施</li> <li>・在来作物栽培では、今回購入した耕耘機や畝立機、播種機の導入にて作業効率が向上した</li> <li>・在来作物及び加工所の完成を期に宣伝方法を検討する</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績885,413円(計画対比57.9%)</li> <li>・加工所の工事が完成し、精米機や製粉機の活用を開始、じまん市等で販売を行い、徐々に商品を拡充していく</li> <li>・作業委託の受け入れを行い、機械の活用を図る</li> <li>・各イベントに参加し、在来作物のPR、販売を実施</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の製造方法の確立(マニュアルの作成)、製造数の増加</li> <li>・パッケージデザイン、レシピ等を含めた新規加工品の開発と拡充</li> <li>・在来作物の栽培量の増加(栽培者数、栽培栽培面積)、売上金額の向上</li> <li>・定例会議を実施し、販売高確保について検討</li> <li>・小河内地区を中心とした、お弁当や食材等の注文販売を実施、老人への食の提供等、地域貢献に努める</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	地域特産蓮根の省力栽培の開発と普及事業 (28年度)		
組織名	チャレンジ・れんこん部会		
事業内容	あさはた地区特産の蓮根栽培の省力栽培の開発、生産技術の普及・継承を行うことにより地域の農業所得の向上と産地維持を図る。また、耕作放棄地の再生利用を推進する。		
事業費	3,469,604 円	助成金額	2,996,600 円
過去の給付実績	平成28年度助成額	1,007,900 円	
	平成29年度助成額	698,000 円	
	平成30年度助成額	1,153,900 円	
	助成金合計額	2,859,800 円	残金 136,800 円
平成28年度事業成果	・設置圃場整備、排水整備、コンテナ導入、施肥設計策定、有害鳥獣対策		
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/27、立ち葉のかれ状況をみて収穫量の確認を実施。3容器平均18kg</li> <li>・北部販売センターに依頼し10月より集荷を開始。じまん市を通じて販売を実施</li> <li>・灌水設備増設、コンテナ60基追加、液肥混入装置設置</li> <li>・出荷量1,323kg(計画比147%)、販売高実績731,180円(計画比101%)</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷量2,007kg(計画比95.6%)、販売高実績1,301,526円(計画比77.4%)、平均単価648円</li> <li>・植え付け作業:土のみで植え付け、種蓮根は視察先(れんこん問屋(株)榎清)の3種と昨年栽培した蓮根とする</li> <li>・生育:昨年より1ヶ月早く植え付けを開始、試し掘りの結果、昨年より1ヶ月早く販売</li> <li>・販売:北部販売センターに依頼し毎週木曜日集荷とし、全量じまん市出荷</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	・共販の「麻機蓮根」と区別するため「JA静岡市産れんこん」として販売しているが、今後有利販売を検討していく		

	桃せん孔細菌病対策と農地の集積・改植による産地維持事業 (28年度下期採択・29年度事業開始)		
組織名	長田桃生産委員会		
事業内容	せん孔細菌病対策として、耕種的防除と薬剤による防除を徹底し、会員の所得向上を図る。また、担い手の育成を図るとともに、農地の集約化を進め、産地維持、ブランド維持を図る。		
事業費	2,310,000 円	助成金額	2,079,000 円
過去の給付実績	平成29年度助成金	633,100 円	
	平成30年度助成金	427,400 円	
	助成金合計額	1,060,500 円	残金 1,018,500 円
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度産は、せん孔細菌病の被害は、ほとんどなかったが3月の低温の影響か、主力品種の日川白鳳がやや着果不良で販売計画に届かなかった。</li> <li>・出荷量54,168kg(計画対比83%)、販売高実績50,319千円(計画対比95%)</li> <li>・防除農薬供給269,022円、苗木供給208本、土壌改良資材供給408,780円の支援事業を実施</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷数量57,140kg(計画対比84.0%)、販売高実績43,298千円(計画対比78.6%) 栽培面積1,350a(計画対比99.3%)</li> <li>・H30年度産は、休眠が十分にとれ、花付が良く、3月以降気温が上昇し順調に育成していたが、4月中旬の冷雨によりせん孔細菌病が発生し、風あたりの強い園地ほど大きな被害になった</li> <li>・温暖化対応品種「さくひめ」が育成された農研機構に視察研修を実施(7月)</li> <li>・果樹経営支援対策事業の推進 改植(8戸10園地 32a)、防風ネット1件</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せん孔細菌病の防除(秋期防除)の徹底と薬剤費助成</li> <li>・老木樹の改植を積極的に推進する。(苗木代の助成、苗の早期成木のための土壌改良資材への助成等)</li> </ul>		

	かぶせ茶・碾茶の生産と普及（28年度）																		
組織名	内牧かぶせ茶・碾茶グループ																		
事業内容	需要が高まっているかぶせ茶・碾茶の生産・販売に取り組み、内牧地区を中心に茶の被覆栽培の普及に努める。また地域茶業の共同管理等を進め、地域をまとめ地域の農業所得の向上を図る。																		
事業費	1,167,168 円	助成金額	931,000 円																
過去の給付実績	平成28年度助成額	657,400 円																	
	平成29年度助成額	209,800 円																	
	平成30年度助成額	63,800 円																	
	助成金合計額	931,000 円	残金 0 円																
平成28年度事業成果	・グループ設立と情報収集、年間作業計画の策定 ・被覆資材の購入																		
平成29年度事業成果	・1番茶：かぶせ茶150a、5名。碾茶20a、1名が栽培 ・茶の成育の遅れから2番茶は被覆を実施できなかったため、農業粗収入計画に対して452千円の未達（計画対比86.4%）																		
平成30年度事業成果	・1番茶：かぶせ茶167a、6名。碾茶37a、1名が栽培 ・かぶせ茶は1番茶のみ実施、品種はサエミドリ、山の息吹、ヤブキタ、オクミドリ ・かぶせ茶の販売高実績（荒茶・反収） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>サエミドリ</td> <td>297,000円</td> <td>65kg @4,569円/kg</td> <td>424,286円/反</td> </tr> <tr> <td>山の息吹</td> <td>328,500円</td> <td>97kg @3,387円/kg</td> <td>273,750円/反</td> </tr> <tr> <td>ヤブキタ</td> <td>1,278,500円</td> <td>597kg @2,142円/kg</td> <td>228,304円/反</td> </tr> <tr> <td>オクミドリ</td> <td>1,227,400円</td> <td>323kg @3,800円/kg</td> <td>395,935円/反</td> </tr> </table> * 同時期の煎茶は1,600円/kg 単価30%増 ・碾茶の販売高実績1番茶 1,514,790円 3,364kg @450円/kg 409,403円/反 （生葉・反収）2番茶 63,960円 492kg @130円/kg ・煎茶終期を狙ったかぶせ茶生産は、低単価で水色の良いかぶせ茶がほしいという茶商の需要にマッチしているが、他産地でも同じ取り組みが増えており輸出対応農薬を使用する等の差別化が必要となる			サエミドリ	297,000円	65kg @4,569円/kg	424,286円/反	山の息吹	328,500円	97kg @3,387円/kg	273,750円/反	ヤブキタ	1,278,500円	597kg @2,142円/kg	228,304円/反	オクミドリ	1,227,400円	323kg @3,800円/kg	395,935円/反
サエミドリ	297,000円	65kg @4,569円/kg	424,286円/反																
山の息吹	328,500円	97kg @3,387円/kg	273,750円/反																
ヤブキタ	1,278,500円	597kg @2,142円/kg	228,304円/反																
オクミドリ	1,227,400円	323kg @3,800円/kg	395,935円/反																

事業名（採択年度）	かぶせ茶栽培の普及による地域活性化事業（29年度）		
組織名	有限会社 クリーンティ松野		
事業内容	近年需要が高まっている高付加価値のあるかぶせ茶の栽培を行い、所得向上を目指すとともに松野地区への普及を行い地域活性化を図る。		
事業費	2,957,823 円	助成金額	1,009,300 円
過去の給付実績	平成29年度助成額	643,000 円	
	平成30年度助成額	円	
	助成金合計額	643,000 円	残金 366,300 円
平成29年度事業成果	・H30年1番茶に向けて、会員にかぶせ茶の取り組みを説明 ・被覆資材一式を購入、被覆開始時期と被覆期間の検討を実施する ・送带式蒸機の導入により高品質なかぶせ茶を製造する		
平成30年度事業成果	・かぶせ茶栽培面積150a（計画対比75%）、販売高実績5,670千円（計画対比128%） ・「ヤブキタ」が終盤1,000円～1,500円/kgだった、かぶせ茶は2,500円/kgで販売することができ、所得向上が図られた ・被覆により摘採時期を後ろにずらすことで、摘採時期の分散化や収量確保につながった		
今後の取り組み（重点指導事項）	・契約栽培取引を検討する ・製造方法について、よりかぶせ香をだすために、萎凋させてからの製造に取り組みたい ・かぶせ茶の栽培、製造方法等を研究し、状況を見ながら規模拡大を考えていく		



事業名 (採択年度)	地域の情報発信基地としての店舗作り (29年度)		
組織名	足久保ティーワークス茶農業協同組合		
事業内容	現在ある販売店舗に加工所を増設し、農産物を使用した新商品(加工品等)の製造と販売を定期的に行い小売販売の販売高を確保する。		
事業費	7,487,617 円	助成金額	3,000,000 円
過去の給付実績	平成29年度助成額	1,607,100 円	
	平成30年度助成額	1,392,900 円	
	助成金合計額	3,000,000 円	残金 0 円
平成29年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロパウダーを使用した粉末(ほうじ茶・煎茶)が小売販売好調、菓子製造業者からの需要がでてきている。マイクロパウダー機と給茶機導入、オリジナルパッケージとロゴの製作</li> <li>・静岡フリーペーパー「すろーかる」「FINDS」など特集を掲載、ティーワークスの認知度が高くなっている</li> </ul>		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品加工設備(什器、厨房機器)の整備、カフェ飲食店開業 販売高実績12,243千円(計画対比151%)</li> <li>・飲食店を開業し、フローズン類を販売、若い世代が来店するようになり客層がひろがった</li> <li>・様々なイベントに参加し、加工品を含めたPRをすることでティーワークスの知名度を広めた</li> <li>・現在、行政主導の研修会等に参加し、マーケティングの強化を図っている</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食スペースがないので、机、いす、ウッドデッキを設置し、くつろげるスペースを設ける</li> <li>・看板、のぼり等を作成し、宣伝強化を行う</li> <li>・商品開発を行い品揃えの充実と客数増加を図り、販売高確保を実施する</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	オリーブ産地化事業 (29年度下期採択・30年度事業開始)		
組織名	駿府オリーブ研究会		
事業内容	東豊田地区では、H27年より茶の転換作物並びに耕作放棄地再生事業の一環としてオリーブ栽培に着手、駿府オリーブ研究会を立ち上げ、静岡産オリーブオイルとして販売する。		
事業費	4,004,640 円	助成金額	3,000,000 円
過去の給付実績	平成30年度助成額	3,000,000 円	
	助成金合計額	3,000,000 円	残金 0 円
平成29年度事業成果	・搾油機発注		
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリーブ搾油機およびホッパー 濾過機1セット導入</li> <li>・営業許可取得手続き</li> <li>・耕作放棄地及び耕作放棄地待機茶園の解消 栽培栽培面積3.5ha(内耕作放棄地等解消栽培面積1.3ha)</li> <li>・10/29初搾油、11/15じまん市販売開始 静岡デザイン学校と連携しパッケージ、化粧箱等作成 東豊田産エクストラバージンオイル「駿」 販売価格:1,200円/50ml 2,160円/100ml</li> <li>・収穫量815kg、販売高実績809千円(計画対比17%)、台風等の影響で出荷量が揃わず、販売高が減少</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術の向上、出荷量の確保</li> <li>・搾油技術の向上、搾油率UPを図る</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	大河内地区茶業振興活性化プロジェクト (29年度下期採択・30年度事業開始)		
組織名	大河内地区茶業委員会		
事業内容	大河内茶業の振興・活性化・知名度向上を目的とした誘客と小売り販売強化。大河内ブランドの構築を図るとともに地元直販施設等と連携し地域活性化につなげる。		
事業費	1,421,167 円	助成金額	1,279,000 円
過去の給付実績	平成30年度助成額	435,400 円	
	助成金合計額	435,400 円	残金 843,600 円
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上茶小売出荷量945.1kg(計画対比95.6%)、販売高実績9,620千円(計画対比97.1%)</li> <li>・「大河内のお茶」のぼりを購入し、各地区に設置</li> <li>・イベントへの積極的参加により「大河内熟成茶」のPRができた</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新茶袋の作成、リーフレットの作成等、大河内茶の知名度アップを図る</li> <li>・イベントへの積極的参加により販売高の確保を図る</li> </ul>		

事業名 (採択年度)	農産物加工ドライフードの製造と販売 (29年度下期採択・30年度事業開始)		
組織名	小坂ドライフード工房		
事業内容	長田小坂地区における規格外農産物を利用した加工品作りと共販販売による農業所得の向上を図る。		
事業費	3,220,536 円	助成金額	2,898,400 円
過去の給付実績	平成30年度助成額	2,898,000 円	
	助成金合計額	2,898,000 円	残金 400 円
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績374千円(計画比99.7%)</li> <li>・店舗改装、機材購入等順次すすめ、長田じまん市にて販売を開始</li> <li>・各種イベントにて営業活動を実施、販路拡大に努めた</li> <li>・構成員7名</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大、ミカン等他作物の製造、商品化の試験</li> <li>・パッケージの研究</li> <li>・施設の多目的活用(乾燥作業受託)</li> </ul>		

事業名	マム(菊)販売品質向上事業 (30年度)		
組織名	JA静岡市しづはた菊部会		
事業内容	電照処理器具の変更、防虫害対策の導入を行い、秀品率の向上を図るとともに、プロモーション事業の促進を実施し、所得向上を目指す。		
事業費	3,663,136 円	助成金	2,897,000 円
過去の給付実績	平成30年度助成金額	2,897,000 円	
	助成金合計額	2,897,000 円	残金 103,000 円
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売高実績17,299千円(前年対比108.7%)、出荷数量244,830本(前年対比128.4%) 期間:9/1~2/28</li> <li>・9月、防除栽培改善資材取り付け。定植後、LED電照栽培処理実施</li> <li>・栽培面積119a、事業受益栽培面積69a、構成員5名</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末出荷に向けて定期圃場巡回を実施する</li> <li>・スリップス被害状況の確認とLED電球による光熱費減少、および花芽分化抑制効果向上の検証を行う</li> </ul>		

事業名	柑橘品質向上マルチ栽培事業 (30年度)		
組織名	JA静岡市柑橘委員会		
事業内容	温州みかんのマルチ栽培率の向上による所得向上		
事業費	3,360,996 円	助成金額	1,344,300 円
過去の給付実績	平成30年度助成金額	1,085,100 円	
	助成金合計額	1,085,100 円	残金 259,200 円
平成30年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度被覆栽培面積153a、平成30年度被覆栽培面積300a(前年対比196%)</li> <li>・生産者27名に被覆資材(タイベック等)の導入助成</li> </ul>		
今後の取り組み (重点指導事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果実分析を定期的実施し、マルチブランドの品質向上に努める</li> <li>・マルチ被覆時期が遅い圃場に対し、早期被覆の徹底を図る</li> </ul>		

